

この申立書を相手方の数+1部、紛争解決センターに提出してください。
 申立手数料は、1万円+消費税がかかりますので、提出するときに、センターにお支払ください。

平成 年度（和 暦）第 月 日

京都弁護士会 紛争解決センター 御中

記載例

和解のあっせん申立書
 仲裁申立書

相手方との間で事前に仲裁合意が成立している場合のみ、「仲裁申立書」にチェックをして下さい。その他の場合は、「和解のあっせん申立書」にチェックをして下さい。

私は、申立ての趣旨及び理由に記載した紛争について、貴センター規程及び同手続規則による解決を求めます。

| | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 申立年月日 | | ○ 年 ○ 月 ○ 日 |
| 申立人 | 住所 〒○○○-○○○○ 京都市○○区○○町○○ | Tel (○○○) ○○○-○○○○ (1) あなたの住所・氏名（法人であれば会社名・代表者名）・電話番号を記入し、押印して下さい。 (2) 印鑑は、ご提出頂く全ての申立書に押して下さい。 |
| | 氏名（会社名・代表者名） | 甲野 花子 ⑩ |
| 申立人代理人 | 住所 | (1) 弁護士を代理人とする申立の場合、申立人代理人の住所・氏名・電話番号を代理人欄に記載し、押印のうえ、委任状を添付して下さい。 (2) 弁護士以外の代理人による申立の場合、申立人代理人の住所・氏名・電話番号を代理人欄に記載し、押印のうえ、委任状兼代理許可申請書を添付して下さい。 (3) 原則、代理人は、弁護士その他法律によって代理権を認められている者に限られます。 |
| | 氏名 | ⑩ |
| 相手方 | 住所 〒○○○-○○○○ 京都市○○区○○町○○ | Tel (○○○) ○○○-○○○○ 相手方の住所・氏名（法人であれば会社名・代表者名）・電話番号を記入して下さい。相手方が株式会社等法人の場合は、資格を証明する書類（資格証明書又は商業登記簿謄本）を1部、添付して下さい。（申立人が法務局にて取寄せて提出して下さい）。 |
| | 氏名（会社名・代表者） | 甲野 太郎 |
| 添付書類 | <input checked="" type="checkbox"/> 紹介状 | <input checked="" type="checkbox"/> 証拠 主張を裏付ける資料をつけるときは、証拠の欄にチェックを入れてください。 その際、資料のコピーを相手方の数+1部（相手方が1人のときは、2部）を一緒に提出してください。資料そのものは第1回期日にお持ちください。 |
| | <input type="checkbox"/> 資格証明書 <input type="checkbox"/> 委任状 その他（ | |

①当センターの行う和解あっせん・仲裁のために、個人に関する情報を記載していただきます。

②和解あっせん・仲裁制度の改善のために資料を提出していただきます。

③当センターは、①及び②の目的以外には、

弁護士が代理していない場合、弁護士の相談を事前に受けたという紹介状を添付する必要があります。弁護士の相談は無料でも有料のものでもかまいません。詳細はセンターにお問い合わせください。

申立の趣旨（あなたの求める結論）

離婚、子どもの親権、財産分与、養育費、慰謝料を求めます。

あなたが相手方に何をしてほしいのかを書いて下さい。

申立の理由（紛争の内容・要点）

平成〇年に結婚したが、結婚当初から、性格の不一致による喧嘩が絶えませんでした。また、夫の異性関係にも問題があり、最近では、3か月前に夫の職場の同僚との浮気が発覚しました。そのことについて文句を言うと、逆上して、暴力をふるわれました。それをきっかけに、今年〇月、3歳の息子連れて、私の実家に避難し、夫とはそれ以来別居しています。

夫は離婚することについては納得していますが、3歳の息子の親権は譲れない、財産分与、慰謝料の支払いにも応じないと言っています。

当センターを利用して解決を望むに至った経過を書いて下さい。